

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
久米南町	中靱地区	令和4年3月8日	年 月 日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	56.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	34.2 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	11.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	7.1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	5.0 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

農業従事者の高齢化が進み現状継続が困難になる。 農業機械は個人所有が多く機械が古くなると農業廃業へ。
---

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

高齢化の問題と共に、周辺林地等の関係にて規模拡大することは困難な中心経営体がある。 廃業者の農地で引き受け可能なものは中心経営体が引き受け、集約化を進める。 その他の中心経営体は現状を維持する。
---

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

高齢者が多く地区内での受託者がいないため他地区からの協力を今後考える必要がある。
水稲作付については現在5割が苗の購入状況であり、水利については溜池利用となり労働時間の短縮が必要
鳥獣対策関連は全地区全員で管理を実施している。
今まで以上に耕作放棄地の増加対策として農地中間管理機構の活用を検討していく。